

平成 28 年カスケード及び周辺の管理について

柏原克彦・信太千帆・島田有紀子

はじめに

カスケードでは、鉢・プランター・大型コンテナ・ハンギングバスケット・花壇（委託花壇及び自主花壇）・立体花壇（フラワーボール）を使用して季節の草花等を常時展示装飾している。

植栽について

カスケード周辺から正面ゲート及び、周辺花壇に植えた植物は表の通りである。

プランターの展示

プランターで展示している草花は、種子から栽培したものや苗を購入したものの両方を植栽した。一つのプランター内は単一の植物で構成することを基本としているが、本年度は例年に比べて寄せ植えでの展示も増加させた。

まず、本年は1月初めからアネモネの展示を行った。パンジーやクリサンセマム（ノースポール）が大半の展示の中で、来園者の目を引き、良いポイントになった。本年は3月・4月の降水量が少なく、昨年度見られたようなチューリップの首が曲がったり花卉が乱れるなどの深刻な影響はなかった。また例年通りチューリップの展示期間の後半に合わせるようにハナナの展示を始めたが、例年ほど背丈が大きくなり、展示しやすいスタイルだった。花つきは良く、密度の高い植栽となった。また本年は、万田発酵株式会社（広島県尾道市因島重井町 5800-95）より巨大ダイコンの提供を受け、大温室前のキッチンガーデンで展示を行った。ハナナの展示がほぼ終わる頃からデルフィニウムの展示を始めた。昨年のように背の高い（草丈 100cm 程度）デルフィニウムとはならず、ハナナと同様コンパクトな展示となった。同時期にはポピーやベゴニア、ゼラニウム、セキチク等を展示した。

本年度のコスモスは'スーパービッキー'と'ピノキオ'という2品種を選択した。例年通り5月の主力展示に用いるために2月に種まきを行った。'スーパービッキー'は概ね9割以上の発芽率であったが、'ピノキオ'は6割程度に留まっ

た。コスモスの種まきは昨年度までのプラグまきから9cmポットに3粒ずつまく方法に変更した。間引きは行わず、発芽した苗が十分に成長したらそのまま18cmポットへ植替え、プランターに入れて展示した。昨年度の展示方法より1個のプランター当たりの密度が増し、展示に迫力が出た。プランターの展示数が減り、プラグで栽培する手間が省け負担軽減に繋がった。

夏に向けて、ハイビスカス、サンパチェンスを大型の鉢で展示した。例年通りラインを意識した配置で展示したが、マンネリ化を防ぐために目新しい展示方法を考案する事が必要であると考えられる。本年度のヒマワリは10品種を導入し展示した。展示時期を長く確保するために3度に分けて種まきを行った。マンチキン、ビンセントを主力に、開花のタイミングが揃いやすく展示時期のコントロールが容易なサンリッチシリーズも積極的に取り入れた。また、'ムールージュ'、'プラドレッド'と言った赤系のヒマワリは来園者からの評価も高かったので、来年度以降もポイント的に有効活用していきたい。8月にはNHK「趣味の園芸」に当園とコスモスが取り上げられ、カスケードは撮影のメイン場所ではないながらもコスモスを多く展示した。

本年の6月から9月は非常に雨が多く、多くのコンテナ、花壇が不調に終わった。特にコキアは根腐れを起こして赤く紅葉する間に枯死していき、秋に展示ができなかった。花時計に植え付けたケイトウ'アイスクリーム'は植え付け翌日から1週間続いた雨により枯れてしまい、抜き取り処分した。

大鉢について

本年も冬～春はパンジーとチューリップの寄せ植えを、夏はハイビスカスやデュランタ、ランタナを植え付けた。秋に来年度用のチューリップを植え付ける際、調子の悪くなっていたラベンダー等を処分した。また植替えの対象となった鉢については土の全面入れ替えを行った。鉢の下半分は通常の用土にまさ土を混ぜたものを使用し、上半分は通常の用土をそのまま使用した。（本年度から使用している通常の用土とは、赤玉土（小粒）とバーク堆肥と日向土（小粒）を混合したものである）

花壇委託

本年も特にマリーゴールド、ペゴニア・センパフローレンス、トウガラシ、ペンタスに窒素過多の症状が見られたので、委託作業中の追肥作業については夏以降完全に無しとした。これは来年以降も引き続き同様に管理する。平成27年冬に改めて各花壇の花苗数を調整し、本年からは大幅な余り苗が発生しないようにした。目安としては大体、各花に約80株の余剰が出るよ

うにしている。この余剰苗は枯れた場合の予備である。植え付ける品種に関しても多少の変更を行った。新規のものでパフォーマンスが特に良かったものを挙げるとアンゲロニア（中花壇・7月～）である。盛夏に少し勢いが止まったが植え付けから抜き取りまで概ね花を絶やさず、また水等の管理もそれほど手がかからなかった。前述した通りケイトウ‘アイスクリーム’が長雨で枯死したが、工夫して次年度も使用したい。



カスケードに展示したアネモネ1



カスケードに展示したアネモネ2



カスケードに展示したハナナ



万田発酵株式会社から提供された巨大ダイコン

